

第10章 青少年の国際交流

第1節 海外派遣状況

1 内閣府青年国際交流事業

この事業は、日本や各国を代表する青年が、共に国際的課題についてのディスカッション等の活動を行うことを通じ、国際的視野を広げ、国際協調の精神と実践力を向上させ、リーダーの育成を目指すことを目的に内閣府が毎年度実施しているもので、以下に述べる5つの事業からなっている。

各事業への参加青年については、各都道府県で参加申し込みを受け付けた後、各都道府県での中間選考を経て内閣府に推薦され、最終選考において事前研修に参加し、最終的に各事業への参加者が決定されている。

(1) 国際青年育成交流事業

1959年に今上陛下御成婚を記念して開始された事業で、1993年の皇太子殿下の御成婚を記念して再編。外国青年招へい事業と日本青年の海外派遣事業から構成されている。ディスカッション、ホームステイ等を通じた訪問国の青年等との交流、国際協力活動やボランティア活動などの社会活動の現場視察や体験など様々な活動が実施されている。

(2) 日本・中国青年親善交流事業及び日本・韓国青年親善交流事業

日本・中国青年親善交流事業は、1978年の日中平和友好条約の締結を契機として、翌年1979年に日本と中華全国青年連合会との共同事業として開始された。

また、日本・韓国青年親善交流事業は、1984年の日韓共同声明及び1985年の日韓国交正常化20周年を契機に1987年より開始された。ディスカッション、ホームステイ等を通じた訪問国の青年等との交流、産業、文化、教育、社会福祉等の諸事情の研究や関連施設の訪問等を行っている。

(3) 「東南アジア青年の船」事業

1974年に日本とASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国間の共同事業として発足。船内及び訪問国において各種の交流活動を行うことにより、日本及び東南アジア諸国の青年相互の友好と理解を促進し、国際的な視野を広げるとともに、国際協調の精神の醸成と国際協力における実践力の向上を図り、国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮できる青年の育成を目的として実施されている。日本及び東南アジア4カ国を訪問するとともに、船内において多国間国際交流等を行っている。

(4) 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

高齢・障害・青少年の3分野に係る社会活動の中心的担い手となる青年リーダーの育成を目的として2002年から開始された。外国青年招へい事業と日本青年の海外派遣事業から構成され、高齢・障害・青少年の各分野において社会活動の現場の視察や意見交換等を実施している。

(5) グローバルリーダー育成事業

明治百年記念事業として開始された「青年の船」事業及びその後発展的に改組した「世界青年の船」事業を継承するものとして、平成25年度から開始された。

「青年の社会参加」を共通のテーマに、青年が果たすべき社会的役割についての認識を深め、実践力の向上を図るためのディスカッションを行うほか、寄港地における地元青年等との交流や関連施設の訪問等を行っている。

第10-1-1表 青森県からの内閣府青年国際交流事業派遣状況

事業名	平成20年度 までの累計	21	22	23	24	25	合計
青年海外派遣 国際青年育成交流 青年中国派遣 青年韓国派遣	66人	—	—	—	—	—	66人
世界青年の船	17人	2人	—	1人	1人	—	21人
東南アジア青年の船	7人	2人	—	—	—	—	9人
グローバルリーダー育成	0人	—	—	—	—	—	0人
計	90人	4人	—	1人	1人	—	96人

資料：青少年・男女共同参画課

2 青年農業者の海外研修

(1) 青年農業者の海外農業研修

公益社団法人国際農業者交流協会が行う、20代の農業青年を対象としたアメリカ、ヨーロッパでの長期研修プログラムへの参加推薦により、青年農業者の農業技術や経営管理能力の向上、国際的視野の拡大を図る。

第10-1-2表 青森県からの青年農業者海外研修推薦状況

区分	年度	H23	H24
	アメリカ・コンビネーションコース ※1	—	—
プラクティカルコース ※2	—	1名	—
アメリカ	—	—	—
デンマーク	—	—	—
スイス	—	—	—
オランダ	—	—	—
計	—	1名	1名

資料：構造政策課

(注1) 約19ヶ月の学習・実地研修統合型プログラム

(注2) 約13ヵ月の実地研修特化型プログラム

(2) りんご基幹青年育成事業

平成5年のニュージーランド産リンゴ、平成6年の米国産リンゴ等の輸入解禁を受け、(一財)青森県りんご協会では、「青森県りんご産業基幹青年養成事業」において、外国産リンゴの栽培・品質・流通状況等の実態調査等を通して国際的視野と海外競争力を持つ青年農業者の育成に向けた海外研修を実施している。

第10-1-3表 「青森県りんご産業基幹青年養成事業（（一財）青森県りんご協会）」海外研修状況

区分 \ 年度	H13	H15	H17	H19	H21	H23
研修国 (参加人数)	米国 (43名)	米国 (27名)	中国 (31名)	中国 (30名)	韓国 (40名)	韓国 (36名)

資料：構造政策課

第2節 外国青年受入状況

1 外国青年招致事業

県内における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流の発展を図るため、総務省、文部科学省、外務省及び財団法人自治体国際化協会の協力の下に「語学指導等を行う外国青年招致事業」を実施しており、本県の平成25年度の受入状況は次のとおりである。

- 日本人教師の外国語授業の助手として職務に従事する「外国語指導助手（ALT）」120名を招致し、主に教育委員会または学校に配置した。（第10-2-1表）
- 外国からの訪問客の接遇、外国語刊行物の翻訳・監修、イベント等の通訳などの職務に従事する「国際交流員（CIR）」15名をアメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、韓国、中国、ニュージーランド及びロシアの各国から招致し、県及び市町村に配置した。

なお、昭和62年度からの招致人員は延べ2,396人である。（第10-2-2表）

第10-2-1表 平成25年度の語学指導等を行う外国青年招致人員内訳

〈国別、男女別〉 (単位:人)

区 分	男	女	計
米 国	52	46	98
カ ナ ダ	5	5	10
オーストラリア	5	2	7
英 国	4	1	5
ニュージーランド	3	3	6
ド イ ツ		1	1
ロ シ ア	1	1	2
中 国		2	2
韓 国	1	3	4
計	71	64	135

資料：県国際経済課

〈職業別、男女別〉 (単位:人)

区 分	男	女	計
国際交流員（CIR）	7	8	15
外国語指導助手（ALT）	64	56	120
計	71	64	135

資料：県国際経済課

第10-2-2表 語学指導等を行う外国青年招致事業外国青年招致数（H25.7.1現在）

（単位：人）

団体名	平成25年度			平成24年度			昭和62年度～平成23年度				
	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計	CIR	専任 P A	ALT	SEA	計
青森県	4		4	4		4	91				91
教育庁		30	30		31	31		2	703	5	710
小計	4	30	34	4	31	35	91	2	703	5	801
青森市	3	14	17	3	14	17	44		91		135
弘前市	1	7	8		5	5			69		69
八戸市	1	17	18	1	9	10	15		109		124
黒石市		2	2		2	2			30		30
五所川原市		3	3		3	3			50		50
十和田市		4	4		4	4	2		42		44
三沢市		2	2		2	2			18		18
むつ市		4	4		4	4	14		66		80
つがる市	1	3	4	1	3	4	25		66		91
平川市		2	2		2	2			40		40
平内町		1	1		1	1			25		25
今別町		1	1		1	1			16		16
蓬田村		1	1		1	1			10		10
外ヶ浜町		1	1		1	1			19		19
鱒ヶ沢町		1	1		1	1	13		14		27
深浦町		1	1		1	1	5		21		26
西目屋村											
藤崎町		1	1		1	1			20		20
大鱒町		1	1		1	1			17		17
田舎館村							6				6
板柳町	1	1	2	1	1	2	15		22		37
鶴田町	1	1	2	1	1	2	20		24		44
中泊町		2	2		2	2			41		41
野辺地町									7		7
七戸町		2	2		2	2	9		26		35
六戸町	1	1	2	1	1	2	10				10
横浜町		1	1		1	1			1		1
東北町		2	2		2	2			7		7
おいらせ町		2	2		2	2					
六ヶ所村	2	1	3	2	2	4	18		18		36
大間町									14		14
東通村									5		5
風間浦村		1	1		1	1			10		10
佐井村									11		11
三戸町		2	2		2	2			27		27
五戸町		3	3		3	3			42		42
田子町		1	1		1	1			24		24
南部町		2	2		3	3			45		45
階上町					1	1			17		17
新郷村		1	1		1	1			1		1
中部上北広域事業組合		1	1		1	1			23		23
東部上北教育研究協議会									48		48
市町村計	11	90	101	10	83	93	196		1,136		1,332
県計	15	120	135	14	114	128	287	2	1,839	5	2,133

資料：国際経済課

2 海外技術研修員の受入れ

開発途上国の優秀な青年を受入れ、その国の発展に必要な技術を習得させ、これを活かして研修員が自国の経済発展に貢献するとともに、県民との交流を通じて、日本の社会、経済、文化、習慣等についての理解を深め、日本との友好関係の増進に寄与することを目的としている。

本事業は、昭和49年度から実施しており、平成25年度までの累計で海外青森県人会等の推薦による海外技術研修員252人を受け入れている。(第10-2-3表)

第10-2-3表 海外技術研修員国別推薦機関別集計表

(単位:人)

推薦機関	年度 S49 ～ H3	H4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	計	
		南米 県人会	サンパウロ	78	5	3	4	4	3	4	3		2			1					2	1	2		1
リオデジャネイロ	3																								3
クビチェック																									
マナウス	3				1	1			1							1					1				8
トメアス	13		1		1		1			1								1							18
ベレン	9		1																						10
アルゼンチン	9			2						2	1	2				1									17
パラグアイ	3									1	1		2	2	1		1	1	1					1	14
ブラジルサンタカタリーナ州	7			1	1	2	2	2	2	2	1					1		1	1						23
韓国	大田市			1	1																				2
	江原道					1	1																		2
	京畿道						1	2	2																5
中国	黒龍江省			2	1	1	2	1	1	1	1	2	2	2	1				1						18
	吉林省											1	1	1			1								4
	遼寧省											1	1	1		1									4
JICA	黒龍江省		1						1																2
	吉林省	1																							1
	湖南省									1															1
	マレーシア			1																					1
	モロッコ				1		1																		2
	フィリピン					1					1														2
	トンガ							1																	1
	モンゴル											1													1
合計	126	8	10	10	10	11	10	10	8	7	7	6	6	3	3	3	3	3	3	2	2	2		2	252

資料：国際経済課

第3節 その他

1 青年海外協力隊

青年海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施している開発途上国に対する技術協力の一環で、相手国の経済・社会の発展のために、技術技能を身につけた日本の青年を派遣して、各国の国づくりに協力する青年のボランティア活動を中心とした事業である。

本事業の昭和40年発足以来、本県では、平成25年4月30日現在で403人の隊員が世界72ヶ国で活躍している。（第10-3-1表）

ア 対象国：アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の約80か国。

イ 職種：農林水産、加工、計画行政、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツの8部門、約120職種

ウ 派遣期間：原則として2年間

エ 赴任形態：単身赴任

オ 応募資格：満20歳から満39歳までの日本国籍を有する者

カ 待遇：現地生活費、往復渡航費等は国際協力機構の負担

2 日系社会青年ボランティア

日系社会青年ボランティアは、中南米諸国における日本文化への理解、経済交流などで大きな役割を果たす日系人社会の一層の発展を図るため、独立行政法人国際協力機構（JICA）が昭和60年度から実施している満20歳から39歳までの青年をボランティアとして派遣する事業であり、本県では、平成25年4月までに6名が参加している。

3 三沢基地内大学県民就学推進事業

三沢基地内大学県民就学推進事業は、青森県の発展に貢献する国際性に富む有為な人材を育成するため、県内に居ながら三沢米軍基地内にあるアメリカの大学等（セントラル・テキサス短期大学、メリーランド大学、フェニックス大学大学院、トロイ大学大学院）への就学を希望する県民を対象としており、これまでの就学者数の累計は、平成25年10月末現在で488名となっている。

第4節 市町村の青少年国際交流状況

青少年の国際交流事業は、各市町村においても積極的に取り組む姿勢があり、継続的あるいは記念事業としての海外派遣事業や、相互交流を推進する海外青少年の受入事業を積極的に推進している。

平成24年度の実施状況は第10-3-2表のとおりである。

第10章 青少年の国際交流

第10-3-1表 本県出身青年海外協力隊年度別派遣数 平成25年4月30日現在

(単位：人)

派遣国	～H10年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
インドネシア	5			1			1				1	1	1			10
マレーシア	17								1							18
フィリピン	19									1			1			21
タイ	5						1	1								7
カンボジア	3		1						1		1					6
ラオス	3										1					4
東ティモール													1			1
ベトナム		1				1										2
中国	3	1			1			1								6
モンゴル													2			2
ブータン					1											1
バングラデシュ	10	1					1	1		1						14
モルディブ	2															2
ネパール	8		1			1					1	2	1			14
パキスタン			1		1			1								3
スリランカ	7									1		1		1		10
キルギス									1						1	2
ウズベキスタン			1										2			3
小計	82	3	4	1	3	2	3	5	2	3	4	4	8	2		126
中近東地域													2			2
ヨルダン													2			2
シリア	4									1		1				6
イエメン								1	1							2
エジプト											1					1
モロッコ	9														1	10
チュニジア	1	1														2
小計	14	1						1	1	1	1	1	2		1	23
アフリカ地域																2
ボツワナ	2															2
エチオピア	2		1								2					5
ガーナ	8								1		1		1	1		12
ケニア	17	2	1													20
リベリア	1		1													2
マラウイ	12							1	1	2	2			1		19
南アフリカ共和国					1											1
ウガンダ											1	1	1			3
タンザニア	14					1		1			2					18
ザンビア	8									1		1				10
ジンバブエ	4								1							5
ベナン													1		1	2
ブルキナファソ				1	1			2	2		1		1			8
カメルーン												1			1	2
コートジボワール	1															1
マダガスカル					1								1			2
モザンビーク								1								1
ニジェール	1	2				1		1								5
ルワンダ									1							1
ガボン															1	1
セネガル	6		1		1	1	1	1			2	2	1			16
小計	76	4	4	1	4	3	1	7	6	3	11	5	6	2	3	136
中南米地域																5
コスタリカ	4									1						5
ドミニカ													1			1
ドミニカ共和国	2			1						1						4
エルサルバドル	2						1									3
グアテマラ	3	1	1	1				1	1							8
ホンジュラス	5						1							1		7
ジャマイカ	2			1												3
メキシコ	2				1											3
パナマ	2		1		1			1								5
ボリビア	6						1			1	2					10
チリ		1				1	1						1			4
コロンビア	1															1
エクアドル	2									1						3
パラグアイ	8				1			1					1			11
ペネズエラ															1	1
ペルー	3									1						4
小計	42	2	2	3	3	2	3	3	3	3	2		3	1	1	73
オセアニア地域																4
フィジー	3													1		4
マーシャル												1				1
ミクロネシア	1						1									2
バブアニューギニア	5						1			1		1				8
ソロモン	6												1			7
トンガ	4												1		1	6
バヌアツ	2			1			1					1				5
サモア	8															8
パラオ	1									1						2
小計	30			1			3			2		3	2	1	1	43
欧州																2
ハンガリー					1											1
ルーマニア					1											1
小計					2											2
合計	244	10	10	6	12	7	10	16	12	12	18	13	21	6	6	403

資料：独立行政法人国際協力機構

第10-3-2表 平成24年度各市町村における青少年国際交流の実施状況

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
青森市	平澤市留学生受入事業	通年	韓国 (平澤市)	友好都市を締結している平澤市から青森公立大学へ留学生を受け入れ、両市の相互理解と友好交流を図った。	留学生4名
青森市	青森市少年海外生活体験事業	(派遣) H24.7.27～ H24.7.31 (受入) H24.8.1～ H24.8.5	韓国 (平澤市)	友好都市を締結している平澤市中学生との交流事業として、本市留学生の派遣、平澤市中学生の受入を行ない、ホームステイや体験活動等による交流を行った。	派遣 26名 (うち引率4名) 受入 20名 (うち引率3名)
青森市	世界遺産登録推進事業 (「みんなで作ろう! 小牧野遺跡整備 プロジェクト」)	H24.10.28	対象国の限定なし	小牧野遺跡の自然環境等を市民とともにつくり育て、文化財の環境保全等への意識醸成、縄文遺跡群の世界遺産登録への気運醸成に向けた事業の一環としての植樹事業に留学生が参加	ベトナム人留学生 5名
青森市	浪岡中学校生徒 海外派遣・受入事業	(派遣) H25.1.4～ H25.1.13 (受入) H24.7.28～ H24.8.8	アメリカ (メーン州)	姉妹校であるグリーンリー中学校との交流事業として、本市中学生の派遣、グリーンリー中学生の受入を行い、ホームステイや体験活動等による交流を行った。	派遣12名 (うち引率者3名) 受入14名 (うち引率者3名)
青森市	2012ジュニアグローバル トレーニングスクール	H24.8.3～ H24.8.5	アメリカ・韓国	市内小学生と海外の小学生とが合宿による各種国際交流事業を実施	アメリカ10名、 韓国10名
青森市	棟方志功賞版画展	H25.2.9～ H25.2.11	ハンガリー (友好協会) チエコ (プラハ芸術学校)	青少年の版画文化への理解と技術向上を目的とした版画コンクールの入賞作品をそれぞれの機関に送付している。	送付43点

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
弘前市	国際人育成支援事業	H24.4～ H24.10	イギリス・カナダ・ オーストラリア	次代を担う国際化に対応した若者の才能を育てるため、国際青少年研修協会が実施する海外派遣事業に要する経費の一部を補助する。	派遣 高校生12名
弘前市	第3回国際子ども文化 芸術交流	H24.7.1	インドネシア (バリ島)	インドネシアバリ島の子どもたちによる舞踊・演奏団体を招き、文化芸術活動とおし交流を図った。	来場者 約1,000名
弘前市	弘前市私費留学生就学 援助事業	通年		市内の大学等に在籍する外国人留学生の経済的負担の軽減及び国際親善に寄与することを目的とし、国・県・民間団体等による援助がなく、学業を継続することが困難と認められる私費留学生に対し、一定額(月額15,000円)を支給し、支援した。	延べ59名
弘前市	「留学生パスポート ひろさき」事業	通年		市内の大学等に通う留学生に、文化・社会教育施設等を無料で見学できる機会を提供し、弘前市への理解を深めてもらった。	対象79名
弘前市	国際交流夏まつり事業 補助	H24.8.18		盆踊り大会を中心とした夏まつりの開催により、弘前大学の留学生と地域住民との交流を図るもので、平成24年度は、(財)青森県国際交流協会の多文化共生地域連携強化推進事業を活用した。	参加者300名

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
弘前市	外国人留学生から直接聞ける「世界のおはなし」	H25.2.2	各国	弘前大学で日本語を学ぶ外国人留学生に勉強の成果を発表する場を提供するとともに、市民が外国の文化を知る機会、外国人留学生と市民とが交流する機会を設けた。	参加者 日本人48名 外国人留学生4名
八戸市	青少年海外派遣事業(派遣)	H24.5.26～ H24.6.1	中国	国際協調の精神を育てるとともに、青少年の健全育成を図るため、中学生を海外に派遣する。	派遣30名 (うち引率者5名)
十和田市	地域国際化推進助成事業	H24.4～ H24.10	ベトナム	ベトナムから県教育委員会副委員長及び中学生4名を招聘しての教育研修及び多文化交流プログラムを実施	
三沢市	姉妹都市交流事業	H24.5.3～ H24.5.12 H24.8 H24.10	アメリカ (ワシントン州ウエ ナッチャバレー)	姉妹都市への交流員の派遣と使節団の受入れ	5月派遣14名(中学生11名、大人3名) 8月受入21名 10月派遣大人4名
三沢市	国際交流推進事業	通年	基地内小学校	市内全小学校対象。 日米各校の国際理解教育における異文化理解及び英語による交流の充実	カミングス 小学校生徒
三沢市	国際子どもアイスフェスティバル	H25.3.9		国際都市を標榜する当市の特色を生かし、子供たちの冬期間の交流の場として、三沢アイスアリーナを会場に色々なゲームを通じてお互いの友好を深めることを目的として開催するものである。	日本人100名 アメリカ人50名
むつ市	ジュニア大使派遣事業	H25.1.5～H25.1.11	アメリカ (ポート・エンジェルス 市)	中学生のホームステイを通じた体験	派遣13名

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
むつ市	中華民国陽明中学との 友好交流事業	H24.7.2	台湾 (高雄市)	中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問を通して 友好交流を図った。	受入39名
つがる市	つがる市姉妹都市 国際交流事業(国内事 業)	H24.7.19～H24.7.29	アメリカ (メーン州/バス市)	バス市から来訪する訪問団を受け入れ、ホームステイを しながら、各種交流事業を実施し、友好・親善を深めると ともに、市民の国際感覚の育成を図る。	受入13名
つがる市	つがる市姉妹都市国際 交流事業(国外事業)	H24.8.10～H24.8.18	アメリカ (メーン州/バス市)	バス市に訪問団を派遣し、ホームステイをしながら、各種 交流事業を実施し、友好・親善を深めるとともに、参加者 の国際感覚の育成を図る。	派遣39名 (うち引率6名)
平川市	国際交流(中学生ホーム ステイ受入)事業	H24.4.1～ H24.4.21	アメリカ (メーン州)	アメリカメイン州のホームステイを受け入れることで、家族 との交流を深め、生活習慣の違いを学び、学校体験により 多くの中学生が外国の中学生と交流することで、文化の 違いを発見し、相互理解を深めた。	12名 (うち引率2名)
平川市	国際交流(中学生ホーム ステイ派遣)事業	H25.1.3～ H25.1.13	アメリカ (メーン州)	外国でのホームステイ体験をさせることにより、生きた英語 や異文化に触れるなどの実体験を通して、国際感覚を養い、 語学学習への意欲・能力の向上を図られた。	12名 (うち引率2名)
蓬田村	蓬田村青少年育成 中学生国際交流事業	H24.4.2～H24.11.2	韓国 ソウル周辺	異文化に対する理解を深め、郷土への愛着や、国際的な 視野と感覚を身につけるため、蓬田中学校3年生を海外へ 派遣する。	派遣35名 (うち引率4名)

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
藤崎町	国際交流フェスタ inふじ崎2012	H24.4.26～ H24.5.1	アメリカ フランス	来日外国人(カイトフライヤー)と町内小学校児童との 交流会、歓迎レセプション、国際交流風揚げ大会(ほか)	来日外国人 4名
板柳町	中学生米国派遣 研修事業	H24.7.28～ H24.8.4	アメリカ (ワシントン州ヤキマ 市、ポートランド市 他)	国際化時代に対応出来る人材育成を目的として姉妹都市 米国ヤキマ市に中学生を派遣	派遣14名
板柳町	小学生親善教育文化 交流団受入事業	H24.8.9～ H24.8.14	中国 (北京市昌平区)	昌平区小学生の交流団を受入し、日中子どもサミット等を 開催しながら次代を担う子どもたちの国際感覚を養い、 日中の友好を深める。	招聘26名
鶴田町	姉妹都市からの 中学・高校生大使 受入事業	H24.8.11～ H24.8.17		姉妹都市から中学・高校生大使が来町。ホームステイを しながら、日本の文化に親しむ。	受入20名
鶴田町	中学生大使 派遣事業	H25.3.15～ H25.3.25	アメリカ (フッドリバー市)	中学生大使を姉妹都市へ派遣し、ホームステイをしながら 交流を行った。	派遣22名 (うち引率2名)
七戸町	福島県 ブリティッシュヒルズ 体験学習派遣事業	H24.7.29～H24.8.2	英語圏	体験学習施設ブリティッシュヒルズへ中学生を派遣	派遣3名
六戸町	中学生海外派遣 交流事業	H24.4.26～ H25.5.6	アメリカ (メーン州)	町中学生を姉妹都市に派遣し、ホームステイ等により、 異文化に触れ、相互に理解を深めるとともに、国際的な 視野と感覚を育てる。	派遣7名 (うち引率2名)
六戸町	中学生海外派遣 交流事業	H24.4	アメリカ (メーン州)	姉妹都市の中学生等をホームステイ等により受け入れ、 地元文化に触れ交流を図る。	招致13名

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
東北町	日米交流「ひな祭り in TOHOKU town」	H25.2.23	三沢米軍基地	在日米軍と周辺地域との調和を図るため、米軍三沢基地の米軍人等と青森県東北町民との交流事業を実施	三沢米軍基地親子 34名 町内小学校 親子 33名
六ヶ所村	小学生 海外体験学習事業	H24.7	オーストラリア	村内から選考した小学6年生をオーストラリア・ケアンズ、シドニーに派遣し、ホームステイ等を通じて現地の小学生と交流した。	派遣19名 (うち引率5名)
六ヶ所村	六ヶ所村・横浜町中学生 海外体験学習事業	H24.12	アメリカ合衆国	六ヶ所村と横浜町から選考した中学2年生を対象にアメリカ・カリフォルニア州に派遣し、ホームステイ等を通じて現地の言語・文化を学んだ。	六ヶ所 生徒18名 引率5名
六ヶ所村	高校生 相互ホームステイ 交流事業	派遣 H24.7.22～ H24.7.27 受入 H24.8.1～ H24.8.4	韓国 (襄陽郡)	韓国襄陽郡と村の高校生が相互にホームステイを行い、異文化理解と友情を深める。	派遣15名 (うち引率4名) 受入16名 (うち引率4名)
六ヶ所村	小学生 サッカー交流派遣事業	H24.7.22～ H24.7.25	韓国 (襄陽郡)	六ヶ所村小学生サッカーチームを韓国襄陽郡に派遣し、現地の小学生サッカーチームと試合を通じて交流を行った。	派遣17名 (うち引率6名)
六ヶ所村	美術交流事業	随時	ドイツ (ヴァーレン市) 韓国 (襄陽郡)	児童・学生の美術作品を相互に送付・展示し、互いの文化への理解を深めた。	

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
おいらせ町	中学生海外派遣事業	H24.4.26～H24.5.4	アメリカ (メーン州)	中学生を姉妹都市に派遣し、ホームステイ等により、現地の中学生との交流を図る。	派遣8名 (うち引率0名)
おいらせ町	海外交流受入事業	H24.4.26～H24.5.4	アメリカ (メーン州)	姉妹都市の中学生をホームステイ等により受け入れ、交流を図る。	
おいらせ町	鮭の稚魚放流会	H25.3	アメリカ	世界のアースデーの一環で実施される鮭稚魚放流会における、子どもを対象とした交流会	参加300名
東通村	21世紀東通村教育 デザイン海外研修事業	H24.7.30～H24.8.7	ニュージーランド	中学生を対象とした海外派遣でのホームステイ等により、外国語によるコミュニケーション能力と相手を理解する国際感覚を培う。	18名 (うち引率4名)
三戸町	中学生海外派遣事業	時期未定 7泊8日	アメリカ (シアトル市)	下記の目的により、中学生を海外へ派遣しホームステイ等を実施する。 (1)外国生活習慣や文化に直接触れることによる視野の拡大と意識の向上 (2)ホームステイを通しての国際理解の醸成と英会話学習 (3)異文化交流による、自国文化の理解	派遣15名 (うち引率3名)
三戸町	海外中学生受入事業	H24.7.7～ H24.7.10 3泊4日	アメリカ (シアトル市)	海外派遣時に交流しているEckstein Middle Schoolと相互交流し、両校の生徒が異文化体験を通じ見識を深めること、語学学習の一環として実施する。	派遣33名 (うち引率5名)

市町村名	事業名	実施時期(期間)	対象国(対象地域等)	事業概要	人員
五戸町	五戸町姉妹都市 バヨンボン町交流事業	H24.5.12～ H24.5.19	フィリピン (バヨンボン町)	バヨンボン町からの訪問団を受け入れ、ホームステイ等により交流を深めた。	受入19名
五戸町	五戸町中学生姉妹都市 韓国沃川郡派遣事業	H24.7.25～ H24.7.29	韓国 (沃川郡)	中学生を姉妹都市へ派遣し、学校訪問や交流会を通じて相互理解と人材の育成を図る。	派遣25名 (うち引率等5名)
五戸町	中学生海外研修事業	H25.1.5～ H25.1.11	シンガポール マレーシア	中学生を海外へ派遣し、国際的視野を広め、英語力の向上、人材育成を図る。	派遣24名 (うち引率等5名)
田子町	中学生海外派遣事業	H24.10月下旬	アメリカ (ギルロイ市)	町内の中学生を姉妹都市へ派遣、ホームステイや現地中学生との交流を通じて異文化を体験した。	派遣13名 (うち引率3名)
田子町	青少年海外派遣事業	H25.1月上旬	アメリカ (ギルロイ市)	田子高校生を姉妹都市へ派遣、ホームステイや現地高校生との交流を通じて異文化への理解を深めるとともに語学の向上を目指す。	派遣5名 (うち引率2名)
田子町	ギルロイ市高校生 短期留学プログラム	H24.6.21～ H24.6.26	アメリカ (ギルロイ市)	ギルロイ市の高校生を受け入れ、ホームステイや児童生徒との交流により異文化への理解を深めた。	受入12名 (うち引率2名)
南部町	中学生海外派遣事業	H24.7.26～ H24.8.2	アメリカ (ハワイ州)	中学生を海外に派遣し、ホームステイ等により現地の住民と交流を図った。	38名 (うち引率等5名)